



手と手

やさしさ
100パーセント

第14回曾於市社会福祉大会福祉ポスター 中学生の部
最優秀賞

作品名「その声かけであつたまる」

「一人暮らしの高齢者が少しでも元気に、そして、楽しい時間を過ごしてもらいたいの、若い人たちが声かけをして気軽に話ができて、また、お話がしたいと思うような関係が築ければいいと思います。」

曾於市立末吉中学校 三年 谷川 日菜さん



主な内容

木原孝久先生による「支え合いマップづくり」	P 2
高齢者チャレンジ推進事業でおろんの会が活動発表	P 3
子ども食堂の紹介	P 4
権利擁護センターから	
サロンで地域いきいき	P 5
佐賀市校区社会福祉協議会研修受入	
障がい者レクリエーション大会の開催	P 6
2018 ボランティア養成講座	
地域で取り組まれる体操教室「ひまわり体操教室」	P 7
介護保険Q & A、地域包括支援センターより	P 8
各種相談窓口のご案内	P 9
寄附金品等報告	P 10

理念 人と人との
つながりを大切に
地域と共に歩む

発行 / 社会福祉法人 曾於市社会福祉協議会
曾於市財部町南俣 504 番地 1 (財部保健福祉センター内)
TEL:0986-72-0460・0480 FAX:0986-72-0425
E-mail:sohokubu-shakyo@dream.ocn.ne.jp
情報紙「手と手」は、本会のホームページでもご覧になれます。
URL:<http://soo-shakyo.or.jp/>

この情報紙は、地域住民の皆様からの社会福祉協議会費を財源に発行しています。

木原孝久先生による「支え合いマップづくり」を開催

第14回曾於市社会福祉大会終了後、ご講演いただいた住民流福祉総合研究所 所長 木原孝久先生と地域住民による「支え合いマップづくり」が柳迫福祉拠点施設「皆来館」において行われました。

支え合いマップづくりとは、住民のふれあいや助け合いの実態を、地元の人から聞き取り、住民の関わりを住宅地図に記入していくものです。地域にどんな福祉課題があり、住民はどう対処しているか。その結果をもとに、これからどんなことに、どんなふうに取り組んだらいいのかを考える一つの手法です。

マップを作りを通して、誰もが安心して暮らせるようなご近所発信による福祉活動につながればと思います。



📢【参加者の声】

私たちの自治会は、2年前に支え合いマップづくりをし、地域課題に取り組んできたところですが、今回、見直しをしたところ、当初作成したマップと随分様子も変わり、新しい課題も見えてきました。自治会内に施設入所者が5名いますが、普段いらっしゃらないので、あまり気にしていませんでしたが、



木原先生より、「この人たちは里帰りした時はどうしていますか。」と言われ、戸惑いました。入所される前はサロンに参加していた方がいることを伝え、「里帰りした時にサロンを開いたら喜ぶと思うよ」と言われ、なるほどと思いました。その他にも色々な課題と解決に向けてのヒントをいただき、再度見直すことの大切さを痛感しました。これを機会に地域の皆様と知恵を出し合い、自分たちにできること、地域でできることに取り組んでいきたいと思います。(I・M)

曾於市社会福祉大会が開催され、木原先生の講演「住民流助け合い起こし 見守りから生活支援へ」を聞かせていただき、午後から支え合いマップづくりに参加させていただきました。

先生は、その地域にどんな人たちが住み、どのような状況で生活しているか。また、介護サービス利用者、地域サロン参加者、一人暮らし、高齢者夫婦、施設入所者など、詳しく聞かれました。そして、その方々の関わり合いの線を引くことで、どのような問題点があるかまで見えてきました。

ここの地域はサロンがあり、月1回実施されています。そのサロンには、どんな人たちが参加されているか。問題点についてもどう解決すればよいかまで解かれ、住民流の福祉のあり方を話されました。そして、ご近所の世話好きさんが活躍する場も大切とも言われました。それは、まさにここでサロンの立ち上げに携わった方々のことであり、見守り活動や繋ぎも積極的に行ってる柳迫地域について、木原先生からは、「よくやっていますね」と評価されました。



これから益々高齢化が進む中、住民が主体となりお互い助け合い支え合うことで、誰もが住み慣れた地域で、本人らしく生きていける方向を見ることができたと思います。微力ではありますが、地域のため、自分のため、世話好きさんでありたいなと思いました。(N民生委員)

高齢者チャレンジ推進事業 高齢者を中心とした地域貢献活動団体表彰式・事例発表会 おろんの会が基調講演

10月17日かごしま県民交流センターにおいて「高齢者を中心とした地域貢献活動団体表彰式・事例発表会」が開催され、大隅町坂元地区おろんの会事務局長の太良木 義文氏が“今日も明日も精一杯”～地域のために自分のために～と題して1時間ほどにわたり基調講演をされました。



おろんの会は、平成24年4月に14名の有志で地域を自分たちの手で守ろうと結成された、元気高齢者のボランティア団体です。檀上から太良木事務局長は、おろんの館建設からおろん市場やお魚市など地域活動の様子を鹿児島弁でユーモアを交えながら講演されました。

活動の拠点となるおろんの館は、曾於市社会福祉協議会の運営する小規模多機能ホームより愛さかもとに隣接する場所にあり、鯉のぼり、七夕飾り、時の話題をテーマにした、かかし展示など地域住民のいこいの場所となっています。

おろんの会の活動については、南日本新聞で5回、曾於市報や議会だよりなどでも紹介されていますのでご存知の方も多いと思いますが、70歳～80歳代を中心とした高齢者が地域のために何かをしたいという思いは参加された方々の心に強く響いたのではないのでしょうか。

この活動が県内の元気高齢者の地域貢献活動の模範となり我が事・丸ごとの地域づくりの輪として広がることを期待したいと思います。



子ども食堂の紹介

曾於市大隅ふれあい食堂



代表 新西 美智子 牧之瀬 千保子

曾於市大隅ふれあい食堂では、曾於市内の子ども、ひとり暮らしの高齢者の方々の孤食を防ぐため、温かい食事と語らいの場を提供しています。

毎月1回、第3土曜日（青少年育成の日）の午前11時から午後1時30分まで、場所は大隅シオン舎様から、「うどんの店ふくろう」の店舗をお借りして営業しています。

野菜などは、やごろう農土家市に出荷されている農家の渡邊さん、南さんといった方々に、また、食肉については大成畜産及び玉利ファームより提供していただいております。



食堂の利用料は未就学児無料、小中学生は100円、高校生以上どなたでも200円としています。

平成29年9月に開始して1年が経過しました。今後も同じように継続できるように努力していますが、一緒に活動してくださるボランティアの方、地域の皆さんに広報してくださる方の必要性を強く感じております。今後とも地域の皆さんのご支援ご協力をお願いします。

権利擁護センターから

福祉サービス利用支援事業（日常生活自立支援事業）の利用支援員研修会が10月9日、リナシティかのやで開催されました。支援員の能力向上や情報収集・交換の機会として鹿児島県社会福祉協議会が毎年開催しています。現在支援員として活動している方々が参加し、事業の意義と支援員の役割及び業務内容について、またグループワークをとおして他の社会福祉協議会の支援員と意見交換しながら認知症についての理解を深めました。



福祉サービスの利用の手続きや日常的な金銭管理などに不安のある方が住みなれた地域で安心して暮らせるようお手伝いするのがこの事業です。増加傾向にある利用者を支えるには、地域で活動していただく支援員が必要不可欠です。民生委員やボランティア活動をされている方など一般の方でも社会福祉協議会と契約し支援員として活動することができます。お手伝いいただける方は社会福祉協議会にご連絡ください。

サロンで地域いきいき

ふれあい・いきいきサロン 鈴蘭

代表者 水流 耕一

「ふれあい・いきいきサロン 鈴蘭」は、1年半前に発足いたしました。

中正ヶ峯地域にも、サロンを立ち上げ地域全体で、支え合い・助け合って安心安全に生活ができるよう取り組んで行きたい、そして、身近な場所（公民館等）で開催し自由に参加して、雑談しながらの食事会・人とふれあうことにより引きこもり防止等を訴えて参りました。

そして、この趣旨に賛同していただける方 30 名でサロンを立ち上げることができました。最初は事業計画の活動内容を年 5 回程予定していましたが、会員の自発的な取組が 10 回以上の活動へと導きました。



活動内容を一部紹介しますと、美化運動の一環として県道沿いにサロン専用の花壇を作り、市役所農林振興課から花苗を提供してもらい、花壇の土作り・花植え等を皆で語らいながら楽しいひと時を笑顔で過ごすことができました。作業後のお茶会でも笑顔が絶えず、その笑顔が健康へのひとつの財産にもなりました。

年末には、そば打ち研修会等で親睦を兼ねた会員同士の忘年会、活動内容の反省、そして、お互いを確かめ合うことで楽しさの中に支え合いも生まれ、笑顔が元気の源となっているような気がしました。

手探り状態で活動して参りましたが、誰かがリーダーシップをとり、決して無理せず、皆で声を掛け合い、サロン活動を続けて行きたいと思います。

佐賀市校区社会福祉協議会研修受入

8 月 29 日に佐賀市校区社協の役員など 45 名の方々が視察に来られました。曾於市内 26 の校区社協が中心となり市内全域で展開している見守り活動を詳しく調査するためです。見守り活動が、民生委員、在宅福祉アドバイザー、自治会などに加えて新聞販売所や企業などの協力も得て、きめ細かく行われていることに驚かれ、もっと詳しく、もっと具体的にといった質問をたくさんいただきました。佐賀市でも網の目をもっと細かくし、いろんな方々と連携して見守り活動に取り組みたいとの声も聞かれ、曾於市の地域を越えて見守り活動の輪が拡がりつつあります。



曾於市障がい者レクリエーション大会を開催します

市内の障がい施設・団体とその家族及びボランティアの皆さんがお互いの交流を深め、健康増進と社会参加の促進を図ることを目的にレクリエーション大会を開催します。

と き 12月1日(土) 9:30～12:00

と ころ 末吉総合体育館(武道館)

参加無料

参加申込 この大会へ参加されたい方々は、11月22日(木)までに曾於市社会福祉協議会本所または各支所へお申し込みください。

【問い合わせ】社会福祉法人 曾於市社会福祉協議会

(本 所) 財部保健福祉センター内	TEL: 0986-72-0460	FAX: 0986-72-0425
(末吉支所) そお生きいき健康センター内	TEL: 0986-76-2224	FAX: 0986-76-2475
(大隅支所) 大隅弥五郎伝説の里健康ふれあい館内	TEL: 099-482-3013	FAX: 099-482-3515

ボランティア養成講座開講

10月16日、4回シリーズのボランティア養成講座の1回目を開催しました。曾於市内の13名の参加がありました。

開講に当たっては、志布志市の「コーヒータイム in 森山」サロン代表の片野美秀氏から、サロンの始まりから現在の活動の様子を、ユーモアを交えながらご講話いただきました。

小さなことをコツコツ続けていると、外から注目され、協力者や仲間が増えていくという、これから地域で活動しようとする皆さんにとって、心強いお言葉をいただきました。

曾於市民生委員児童委員協議会連合会会長の児玉次雄氏からは、民生委員児童委員活動やサロン活動を通して、地域の福祉力を高めているとの実践報告もいただきました。

参加された方からは「楽しかった。」「話を聞いていたら、自分たちにもできそうな気がしてきた。」との声をいただき、皆さんとともに学ぶ良い機会になっています。





ひまわり体操教室

代表 川路 祥子



9月4日（火）の9：30 から、飯野公民館にて、健康体操教室を始めました。

私たちの体操教室は、地域の民生委員児童委員からサロンの話を聞き、数名で財部保健福祉センターにて具体的な話し合いを行い、体操教室をとりあえずやってみよう！という流れで始まりました。

高齢者も多く、軒数も少ないので参加される方がいるか心配でしたが、皆さん都合をつけて参加されています。

今はまだ2か月程度なので、指導者、サポーターの方の力で、なんとか成り立っている次第です。まずは、笑い合う、楽しむ、身体を動かすことを目的に、茶話会に来るような気軽さで足を運んでもらいたいと思っています。

参加される方も初めは不安そうでしたが、今は少しずつ慣れ、体操、おしゃべり、おふざけ等ありで楽しそうな様子です。

体操教室を始め、一人ひとりの健康状態や集落の情報など、今まで関心のなかったことに気づけるようになったりとプラスになることも多々あります。

参加者は、「おもっしやな！」（おもしろい）「どげんすつとや？」（どうするの？）と話したり、来てない人がいたら、「〇〇さんが来ちょらん（来てない）が連絡せんや。」と教えてくれます。

寒くなって体調を崩される方が増えているので、その辺りも検討しながら調整していきたいと思います。





介護保険に関する Q & A

社会福祉法人等による介護サービス利用者負担の軽減制度について（改正分）

質問

社会福祉法人が経営する介護サービスを利用したときに、市町村税世帯非課税など一定の要件を満たせば利用料等の負担が軽減されると聞きましたが、どのような場合に利用者負担が軽減されるのですか？

回答

介護サービスを提供する社会福祉法人等の社会的役割として、生計が困難な利用者が介護サービスの利用負担額が増えることで、本来受けるべき介護サービスの利用を控えることがないように、生計困難者等の負担軽減を実施し、必要とされる介護保険サービスの利用促進と要介護状態の悪化防止を目的とします。

原則として利用者負担額等の4分の1が軽減（差引）されます。

対 象 者	市町村税世帯非課税であって、次の要件を満たしていると市町村が認めた者 ①収入基準として、年間収入が単身世帯で150万円、世帯員が1人増えるごとに50万円を加算した額以下であること（遺族年金・障害年金・仕送りなどすべての収入を含む） ②資産基準として、所有する預貯金、現金及び有価証券の合計額が単身世帯で350万円、世帯員が1人増えるごとに100万円を加算した額以下であること ③日常生活に供する資産以外に活用できる資産がないこと ④負担能力のある親族等に扶養されていないこと ⑤介護保険料を滞納していないこと	
対象となるサービス及び負担額	対象となる介護保険サービス	対象となる負担額
	訪問介護 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 夜間対応型訪問介護 基準型訪問サービス（総合事業）	利用者負担額
	通所介護 地域密着型通所介護 認知症対応型通所介護 介護予防認知症対応型通所介護 基準型通所サービス（総合事業）	利用者負担額 食費負担額
	短期入所生活介護 介護予防短期入所生活介護	利用者負担額 滞在費 食費負担額
	小規模多機能型居宅介護 介護予防小規模多機能型居宅介護 看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）	利用者負担額 宿泊費 食費負担額
	介護福祉施設サービス 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	利用者負担額 居住費 食費負担額
軽減の程度	原則、上記の利用者負担額の1/4（老齢福祉年金受給者は1/2、生活保護受給者は全額）	

※上記の軽減制度を受けるためには、事前に市町村の介護保険係で申請手続きを行い、確認証の交付を受ける必要があります。

※サービスを提供する社会福祉法人等が、「社会福祉法人等による生計困難者等に対する介護保険サービスに係る利用者負担額軽減事業」の実施事業者であることが必要です。

※対象要件については、世帯状況や利用サービスなど個別で異なりますので、市の介護保険係にご相談ください。

※介護予防・日常生活支援総合事業の介護サービスについては、基準型訪問サービス及び基準型通所サービスが軽減対象サービスとなります。

地域包括支援センターより

高齢者の介護について悩んでいませんか？

- 介護を1人で抱えていて、身近に頼れる家族や友人がいない。 ●介護でイライラしている。
- 介護している人が病気になる体調が悪い。 ●介護の方法が分からない。
- 経済的な理由で介護サービスを利用することができない。

上記のような状況は、介護している人の身体的・精神的負担が大きくなっている可能性があります。

このような悩みを抱えている方、または、まわりにこのような方を知っているという方…1人で悩みを抱えずにまずはご相談ください。

地域包括支援センターでは、専門職（社会福祉士、主任介護支援専門員、保健師）が介護に関することや高齢者の権利擁護に関する相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

曾於市地域包括支援センター

住所：曾於市末吉町二之方 2342 番地（そお生きいき健康センター内） 電話：0986-76-8824 FAX：0986-28-8140

心配ごと相談所開設のお知らせ

と き 毎月第2・第4木曜日（平成30年4月から）9：30～12：00

と ころ 【財部】 財部保健福祉センター 【末吉】 末吉中央公民館 【大隅】 大隅中央公民館

開設日	11月22日	12月13日	12月27日	1月10日	1月24日
財 部	上村・児玉	柳田・鎌原	橋本・棚木原	上村・柳田	児玉・鎌原
末 吉	吉田・田代	竹石・吉田	羽嶋・原田	山内・竹石	田代・吉田
大 隅	鮫島・山口	上門・佐伯	大村・佐伯	鮫島・鍋山	山口・上門



ひとりで悩まないで 弁護士による無料福祉相談窓口

ひまわりの会による無料法律相談

○相談日時及び会場：

会場	大隅弥五郎伝説の里	財部保健福祉センター	そお生きいき健康センター
相談日時	12月20日 13:00～16:00	1月17日 13:00～16:00	2月21日 13:00～16:00

○相談料：無料です。（相談者からはいただいておりません）※1回につき相談時間は30分以内

○申込・受付方法：事前に予約が必要です。

ひまわりの会 事務局 代表弁護士 山口 政幸

☎ 099-227-0041（受付：平日9時～17時）鹿児島市山下町12番17号2階

藤尾法律事務所による無料法律相談

○相談日時及び会場：

会場	財部保健福祉センター	大隅弥五郎伝説の里
相談日時	毎月 第2火曜日 13:00～15:00	毎月 第3火曜日 18:00～20:00

○相談料：無料です。（相談者からはいただいておりません）※1回につき相談時間は30分以内

○申込・受付方法：先着順、事前電話予約可

弁護士法人 大隅広域ディフェンダー 藤尾法律事務所 末吉支所

☎ 0986-51-9830 曾於市末吉町本町1-4-5

“エコキャップ運動”へのご協力ありがとうございます！

本会では、エコキャップ運動への協力に取り組んでいます。

地域の皆様には、本会本所・支所の窓口へ多くのペットボトルキャップをお届けいただき感謝申し上げます。今回、平成30年1月30日から平成30年7月23日までの期間に集まったキャップをイオン九州株式会社へお届けしました。



キャップ回収重量
250.2kg
ポリオワクチン数
約62.6人分

今後も引き続き、
エコキャップ運動への
ご協力をお願いいたします



たくさんの善意に感謝いたします。

本会では、この善意を市民の皆様の福祉向上のために大切にに使わせていただきます。
なお、本紙への掲載につきましては、寄附者の承諾を得てご希望どおりに寄附者名簿を掲載しております。

香典返し寄附金（敬称略）（平成 30 年 9 月 1 日～ 10 月 31 日）

財部地区

大 王 アツ子 泊ヶ山
鬼 丸 寅 雄 坂 元
深 草 ハツミ 南
吉 元 琢 美 平 野
松 下 妙 子 上大川原
児 玉 克 博 鳥 越
岡 師 昭 征 畠 中
年 神 玲 子 新 田
中 川 愛 子 高 山
辻 和 子 水ノ久保
長 友 務 日 光

末吉地区

末 永 ヒロ子 西柳井谷

池 田 幸 江 寺田西
小 迫 妙 子 新 町
胡摩窪 堯 胡 摩
宇 都 サチ子 上柳井谷
三 枝 ヨリエ 三 枝 前
前 原 義 明 橋野坂之上
古 藤 義 久 掛 上
羽 嶋 スミエ
坂 元 由起子 蓑 原
吉 田 妙 子 小 倉
高 良 純 夫 上内門
高 木 敬 太
山 口 妙 子 梶 井
澤 田 政 則 仮 屋
小 松 裕 子 小中野
桐 野 正 人 東法楽寺

橋 口 洋 子 飯 塚
匿名 1 件

大隅地区

豊 重 武 彦 久保崎
赤 松 祐 一 八合原
津 留 フミエ 持 留
牧之瀬 直 東桜ヶ丘
馬 場 和 美 東馬場
肝 付 ひろみ 中坂元
小 濱 弘 子 折 田
阿 多 達 也 大 迫
飛 佐 アキ子 飛 佐
大 村 雄 二 あけぼの
匿名 2 件

一般寄附金品（敬称略）（平成 30 年 9 月 1 日～ 10 月 31 日）

財部地区

原 田 純 隆 南
50,000 円

末吉地区

光神校区社会福祉協議会
3,594 円

大隅地区

匿名 シルバーカー・衣類



お詫び

「手と手」第 65 号（P10）に掲載いたしました「香典返し寄附金品」の記載に誤りがございました。訂正し、心よりお詫び申し上げます。

【訂正前】 大隅地区
松尾 正文 大久保



【訂正後】 大隅地区
松尾 正文 八合原

大隅地区に掲載いたしました松尾正文様の自治会は正しくは、八合原です。

編集後記

同僚から「ツワブキの花は秋の訪れだよ」と聞き、さっそく花言葉を調べてみると、「謙譲」「困難に負けない」だそうです。

「謙譲」は控えめである様で、奥ゆかしい落ちつきを感じさせるその花の姿に由来し、「困難に負けない」は日陰でもよく育ち、寒さが厳しくなっていく時期に花を咲かせることにちなむそうです。私も日頃から謙譲さを忘れず、ツワブキのように芯の強さを持った人でありたいと思う今日この頃です。

また、ケアマネジャーとして、出会う方お一人お一人の心にしっかりと寄り添いながら、この住み慣れた地域で、その人らしく生活が送れる、その一助を担える頼れる存在でありたいと思っています。 A・K